

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	ディスクグラインダ SDG-100J	お買い上げ日 年 月 日	保証期間 お買い上げ日より 6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ) 定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 当社は本製品の補修用部品を製造終了後から基本7年間保有しております。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。左記相談窓口では直接対応できません。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

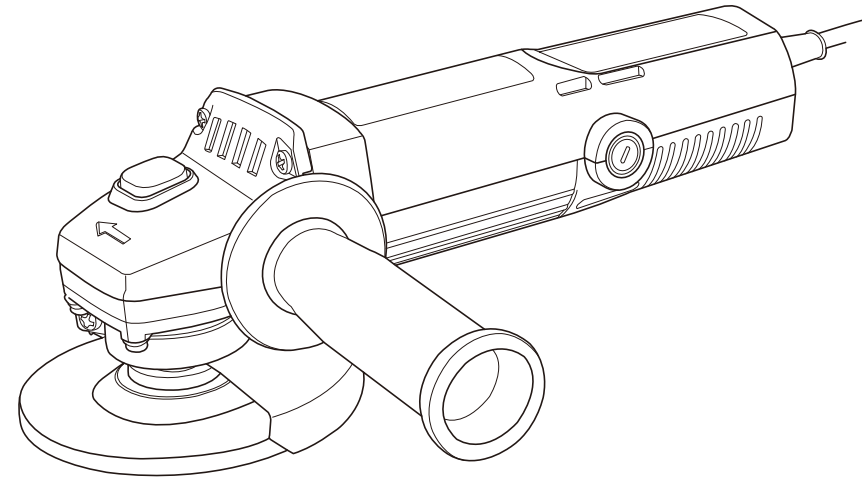
本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



ディスクグラインダ SDG-100J 取扱説明書



二重絶縁

家庭用

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

このたびはディスクグラインダをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。二重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の最初の作業のときは作業前に1分以上動作させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れた人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - 使用后よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
 - 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
 - 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
 - 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。
- ☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

ディスクグラインダご使用上の注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 輸送途中の衝撃等により接続部品が外れたり、破損することがあります。そのまま使用しますと事故の原因になりますので使用前に必ず各部を確認してください。
- お子様や作業に不慣れた方には本機を使わせないでください。また、近づけないように注意してください。
- 本機の使用は長袖、長ズボン、保護メガネ、マスク等を必ず身につけてください。むき出しのままだと研削粉や火花が飛び散るので大変危険です。
- 使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。電源コード、差し込みプラグに破損のあるまま使用しますと事故や怪我の原因になります。
- 使用電源はAC100Vの電圧でご使用ください。それ以外の電源に接続するとモーターの回転が異常に高くなり本機が破損する恐れがあります。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前に、必ずスイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入ったまま差し込みプラグを電源に差し込むと急に回転が始まり危険です。
- 使用前にトイシに亀裂や割れが無いことを確認してください。そのまま使用しますとトイシの破損により怪我の原因になります。
- トイシやサイドハンドルの取付けは確実に行ってください。取付けが確実でないと使用中に外れて大変危険です。
- 使用中は本機をしっかり握って保持してください。保持が確実でないと作業中の反動などで本機を落としたり、回転する砥石で怪我をする可能性があります。
- 本機を雨中や湿気の多い場所で使用したり放置しないでください。また濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。さらに研削液などの液体も使用しないでください。いずれも感電の恐れがあり危険です。
- 研削トイシでは切断作業をしないでください。無理に切断作業をするとトイシが破損し思わぬ事故の原因となります。
- トイシの研削面を人に向けしないでください。研削面に接触して怪我の原因となります。
- 本機を固定して使用しないでください。振動により固定が外れて思わぬ事故の原因となります。
- トイシカバーは必ず取り付けてください。カバーを外して使用しますと研削の破片が飛散したりトイシの研削面に触れたりして思わぬ事故の原因となります。
- 使用中はトイシに手や身体を近づけないでください。トイシは高速で回転していますので大変危険です。
- 本機は作業中、激しく火花が飛び散りますので可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないでください。引火や爆発の危険があります。
- 使用中はロックボタンを押さないでください。また、ロックボタンを押したままスイッチを入れしないでください。モーター損傷の原因になるばかりか、本機が激しく振られて思わぬ事故の原因になります。

- トイシの交換、カーボンブラシの交換をするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いてから行ってください。
- 研削する材料は確実に固定してください。固定が確実でないと作業中の反動で材料が動いて思わぬ事故の原因になります。
- 手のひらに乗せての研削や、小さい材料の切断加工はしないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 使用中、本機の異常に気付いたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。

⚠ 注意

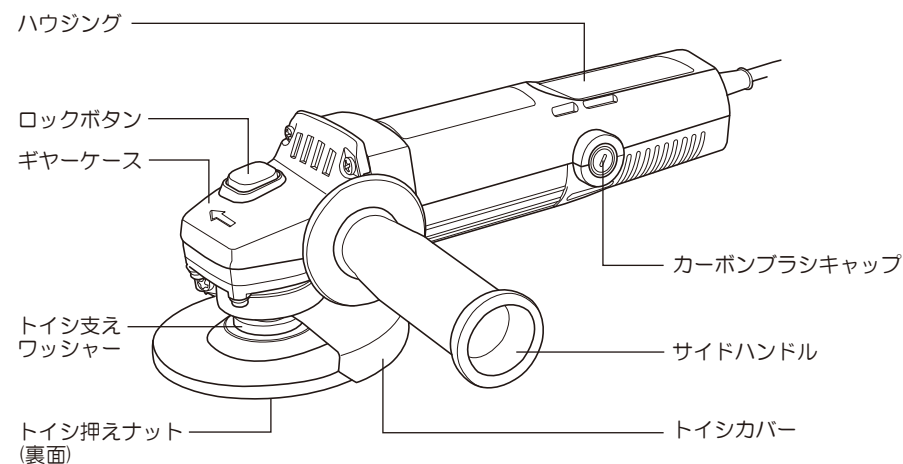
- ご使用前に、取扱説明書に記載されている付属品に、損傷がないことを確認してください。
- 付属品の取付けは、取扱説明書に従い確実に取付けてください。
- 無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないでください。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 本機は各種金属、コンクリート、石材、スレート、樹脂などの乾式平面研削を目的とする携帯用工具です。トイシの上面、側面は使用しないでください
- 本機は、スイッチを切ってもトイシの回転はすぐに止まりません。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- 研削直後の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないでください
- 作業前に、人のいない方向にトイシを向けて試運転をシトイシや、本機に異常のないことを確認してください。

仕様明細

形 式	SDG-100J
電 源	AC100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	5.8A
消 費 電 力	550W
回 転 数	10,000min ⁻¹
絶 縁	☐二重絶縁
トイシ寸法	100×6×15mm
電 源 コ ー ド	1.8m
質 量	1.5kg
定 格 時 間	30分

※品質改良のため製品仕様が変わることがあります。

部品の名称



付属部品

トイシ	レジンイドトイシ	トイシ押さえナット	トイシ取付け用
スパナ	トイシの交換に使用	トイシ支えワッシャー	(本体取付け済)
サイドハンドル	本機にセットして使用	カーボンブラシ	交換用 予備
トイシカバー	本機にセットして使用		

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

☐ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

用 途

- 金属(板、骨材、鋳物)の研削、バリ取り、錆落とし、面取り
- レンガ、石、合成樹脂等の表面仕上げ

作業前の準備

⚠ 注意

- ご使用前に、取扱説明書に記載されている付属品に、損傷がないことを確認してください。
- 付属品の取付けは、取扱説明書に従い確実に取付けてください。
- トイシの交換、カーボンブラシの交換をするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- トイシやサイドハンドルの取付けは確実に行ってください。取付けが不十分ですと使用中に外れて思わぬ事故の原因になります。

■サイドハンドルの取付け

- 本機左右にサイドハンドル取付け穴があります。どちらか使いやすい方に付属のサイドハンドルを取り付けてください。

(図1参照)

■付属品トイシの取付け (図2参照)

- ①工場出荷時、スピンドルにはトイシ押さえナットとトイシ支えワッシャーが付いていますのでトイシ押さえナットだけ取り外してください。

Ⓧトイシ支えワッシャーが外れた場合は切欠き部を本体側にしてスピンドルに通してください。(切欠き部同士が接触した状態)

- ②付属トイシの凸面を本体側にしてスピンドルに通します。

- ③トイシ押さえナットの凸面をトイシ側にしてスピンドルに通します。

- ④ロックボタンを押しながらスピンドルを回すと一か所でスピンドルが固定されます。その状態を維持したまま(ロックボタンを押したまま)付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けてください。

■付属品トイシの取外し

- 取外しは取付けと逆の手順で行ってください。

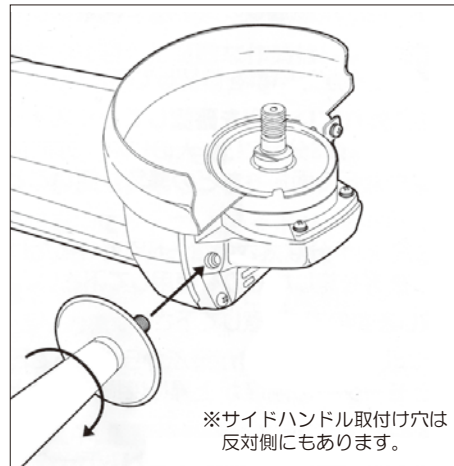


図1

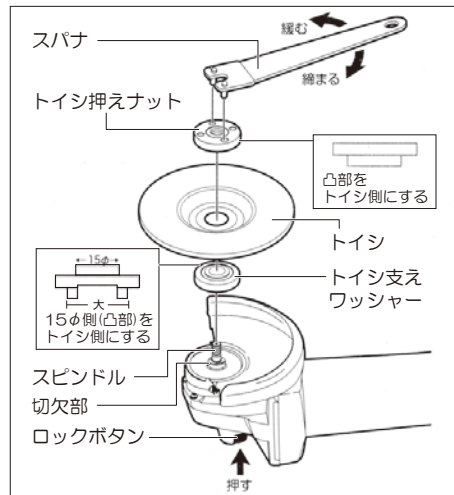


図2

■トイシの径が異なる場合

- 径の異なる市販トイシを取付ける場合は付属のトイシ押さえナットでは固定できませんので穴径を20mmから15mmに変更する別売の穴径変換ワッシャー(P13参照)をご使用ください。

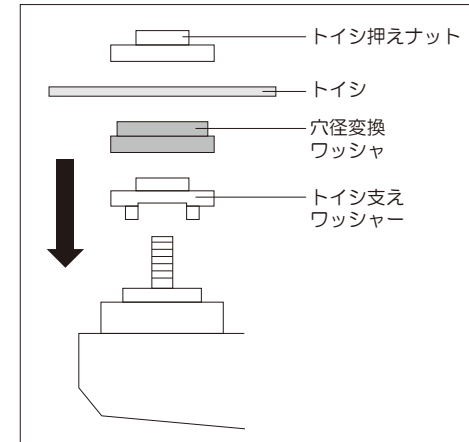


図3

■トイシカバーの角度調整方法

- トイシカバー取付け部分にネジが付いています。トイシカバーの角度を調整するときはネジを緩めて調整してください。
 - 角度調整が終わったら必ずネジを締めてください。
- Ⓧ安全のためトイシカバーを必ず取り付けてご使用ください。

■サンディングディスクの取付け (図4参照)

- ①スピンドルのトイシ支えワッシャーの上にラバーパッド、サンディングディスク(共に市販品)を通します。
- ②その上にラバーパッド押さえナット(市販品)を通します。
- ③ロックボタンを押してスピンドルを固定したら付属のスパナでラバーパッド押さえナットを締付けてください。
- ☑ラバーパッドに専用の押さえナットが付いていないときは代わりにトイシ押さえナットの凸面を下にして付けてスパナで締付けて固定してください。

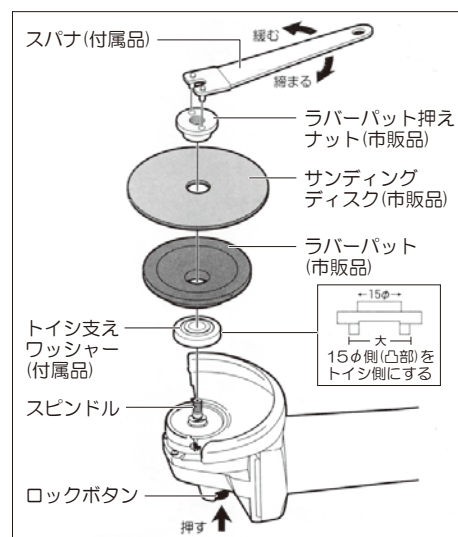


図4

■切断トイシの取付け (図5参照)

- ①トイシカバーを取り外し、切断トイシカバー(別売品)を取り付けてください。
- ②スピンドルのトイシ支えワッシャーの上に切断トイシ(市販品)を通します。
- ③トイシ押さえナットの平面をトイシ側にして通します。
- ④ロックボタンを押してスピンドルを固定したら付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けて固定してください。
- ☑切断トイシの厚さが2mm以下だと薄くてトイシ押さえナットでしっかり固定できません。その場合は切断トイシカバー(別売品)付属のワッシャーを付けて厚みを補完してください。

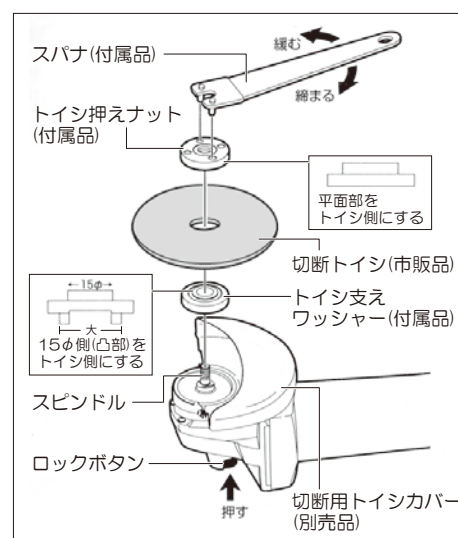


図5

■ダイヤモンドホイルの取付け (図6参照)

- ①スピンドルのトイシ支えワッシャーの上にダイヤモンドホイル(市販品)を通します。
- ②ダイヤモンドホイル付属の穴径変換ワッシャーを通します。
- ③トイシ押さえナットの平面をダイヤモンドホイル側にして通します。
- ④ロックボタンを押してスピンドルを固定したら付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けて固定してください。

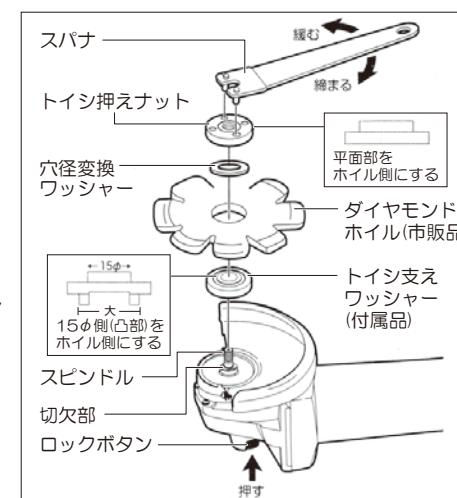


図6

■カップブラシの取付け

- ①カップブラシは直接スピンドルに固定します。トイシ支えワッシャーの上にカップブラシを通して市販のスパナでカップを締付けて固定してください。
- ②カップブラシにはトイシ押さえナットは使用しないので無くさないように保管してください。
- ☑ワイヤブラシが回転中に抜ける事があります。先端が細く肌などに刺さる危険があるので作業中は必ず長袖長ズボン、保護メガネ、防塵マスクを着用してください。
- ☑ワイヤブラシの先端は鋭利なので決して素手で触らないでください。

ご使用方法

⚠ 警告

- 使用電源は銘板に表示してある家庭用100Vの電圧でご使用ください。それ以外の電源に接続しますとモーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前に本機のスイッチが切れていることを確認してください。また、使用後は本機が完全に停止してから差し込みプラグを電源から抜いてください。
- トイシカバーは必ず取付けてご使用下さい。カバーを外してご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前にトイシに亀裂、割れがないことを確認してください。亀裂、割れのままご使用になりますと、トイシの破損により大変危険です。
- 回転中はロックボタンを押さないで下さい。また、ロックボタンを押したままスイッチを入れないで下さい。急激な回転の停止による、モーター損傷の原因になるばかりでなく、本機が振れて思わぬ事故の原因になります。
- 研削する材料は確実に固定してください。不安定な置き方で作業をしますと、材料が飛ばされて思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

- 無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないで下さい。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 本機は各種金属、コンクリート、石材、スレート、樹脂などの乾式平面研削を目的とする携帯用工具です。トイシの上面、側面は使用しないで下さい
- 本機は、スイッチを切ってもトイシの回転はすぐに止まりません。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- 研削直後の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないで下さい。
- 作業前に人のいない方向にトイシを向けて試運転をし、トイシや本機に異常のないことを確認してください。

■スイッチの操作

- 本機後部にある、ON・OFF切り替えスイッチをON側に倒すとスイッチが入り、OFF側に倒すとスイッチが切れます。(図7参照)

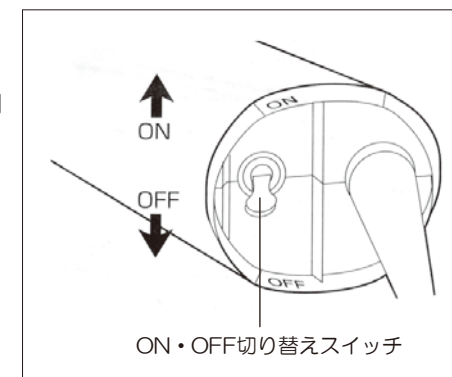


図7

■削り方

- トイシの押しつけ角度は、材料に対してトイシの面が20°～30°位の角度で当るようにしてください。(図8参照)
 - トイシが新しい時は、後へ引くようにして使用してください。
 - トイシの周囲の角が摩耗してから、前後や円を描くようにして使用してください。
- ☞ トイシの全面を材料にあてないでください。
☞ トイシの外径は100mmです。外径が60mm位まで摩耗しましたら、新品と交換してください。

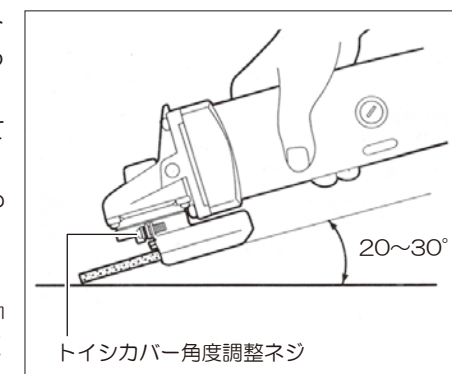
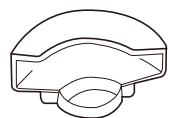


図8

■別売品のごあんない



切断トイシカバー (切断トイシ厚み補完ワッシャー付き)



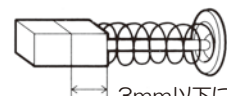
穴径変換ワッシャー (20mm→15mm)

保守、点検について

- 作業後に本機の各部を点検してネジの緩みがないかを確認してください。
- ゴミを取り除き乾いた布で汚れを拭き取ったら屋内の湿気の少ない、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 屋外に放置したり、水洗いは絶対にしないでください。内部が錆びて故障の原因となります。
- 本機に異常が発生したらお買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。

カーボンブラシの交換について

- 本機はカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは消耗品ですので時々取り外して点検し、長さが約3mmに摩耗したら新品と交換してください。短い物をそのまま使用しますと火花が大きくなり、モーター焼損の原因になります。
- カーボンブラシは本機左右のカーボンブラシキャップをマイナスドライバーで回して取り外してから取り出してください。
- カーボンブラシは左右2個で1セットです。交換の時は2個同時に交換してください。



3mm以下になったら交換

よくあるご質問

症状	原因	対策
動作しない	電源プラグが抜けている	しっかり電源プラグを差し込んでください
	延長コードに問題がある	電源プラグを直接コンセントに接続して動いた場合は延長コードが原因です。延長コードが長すぎたり、ドラム式でコードを巻いた状態ですと動作しない場合があります。
	カーボンブラシが摩耗している	カーボンブラシが短いと動作が不安定になりますので設定以下に短くなったらカーボンブラシを交換してください。
	負荷を掛けすぎてモーターの許容温度を超えた。	本製品は短時間の使用を想定して設計されております。定格時間は必ず守ってください。また、再度使用する場合は完全に本機の温度を冷ましてから使用してください。特に夏場は外気温が高いので使用時間が短くなる傾向があります。
研磨できない	トイシが摩耗している	トイシは消耗品です。トイシを交換してください。
トイシが空回りする	トイシとスピンドルの穴径が合っていないもしくはトイシ自体の厚みが足りない。	カーボンブラシが短いと動作が不安定になりますので設定以下に短くなったらカーボンブラシを交換してください。
トイシが固定できない	スピンドルが固定されていない	ロックボタンを押してスピンドルを固定した状態でスパナを回してください。
モーターから火花が見える	カーボンブラシ表面にザラつきがある	カーボンブラシ表面の状態では火花が出ることがありますが使用に問題はありませぬ。使用するうちに状態が安定して火花も出なくなります。
煙が出た	モーターが焼き付いたため	お買い求めの販売店、又は弊社までお問い合わせください。